

蓄音機の歴史

| | | |
|------|------|--|
| 準備期 | 1877 | 錫箔円筒式蓄音機の発明(エジソン) |
| | 1887 | 円盤式蓄音機の発明(ベルリナー) |
| | 1888 | 蝋管円筒式蓄音機を完成(エジソン) |
| | 1889 | ベルリナーはドイツにおいて円盤型蓄音機の公開実験を行い、評価を得る。 |
| | 1891 | ベルリナーは蓄音機の会社を設立。ベルリナーはガイスベルグに出会う。 |
| 発展期 | 1901 | ベルリナーはジョンソンとともにビクターを設立。 ガイスベルグはイタリアの新進テノール歌手カルーソの歌声を録音。 |
| | 1902 | 円筒式レコードの複製方法(Gold Moulded)を完成。(エジソン) |
| | 1906 | ホーン内蔵式のVictorola蓄音機を製造(ビクター社) |
| | 1912 | 円盤式蓄音機(ダイヤモンドディスク)を製造(エジソン) |
| | 1912 | 円筒式レコードの製造を中止。(アメリカ・コロンビア社) |
| | 1913 | メトロポリタン歌劇場からカルーソの「道化師」の公演が放送。 ダンス用のレコードを販売、大ヒット。(ビクター社) |
| | 1917 | 世界初のJAZZレコードを販売。(ビクター) |
| | 1920 | 世界初の公共ラジオ放送を開始。(ピッツバーグKDKA局) |
| | 1924 | レコードの電気録音法が完成。(ベル研究所) |
| | 衰退期 | 1925 |
| 1926 | | トーキー「ドンファン」の上映。 |
| 1926 | | 電気録音レコードに対応したVictorola Credenzaを製造(ビクター社) |
| 1927 | | 卓上型として最高の評価を得るVictorola VV.1-90を製造(ビクター社) ラジオ付き機械・電気両用式蓄音機Victorola-Rasiolaを製造(ビクター社) |
| 1929 | | 円筒式蓄音機の製造を終了(エジソン) |
| 1930 | | 従来の蓄音機から電気式蓄音機(電蓄)に置換わり始める。 |